

第3回高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会議事録

(概要)

日 時：平成20年11月13日(木)19:00

場 所：市役所庁舎 全員協議会議室

●会議次第

1. 開 会
2. 議 題
 - (1) 第四期計画(検討骨子案)について
 - (2) その他
3. 閉 会

●出席委員

・高齢者支援部会：坂井委員、中川委員、畠山専門委員、後藤専門委員、林専門委員、須賀専門委員、菅原専門委員

・健康づくり支援部会：佐和委員、若林委員、本吉委員、高橋きみ子専門委員、角谷専門委員、有岡専門委員、高橋セツ子専門委員

欠席：(高齢者支援部会：安達委員、樋渡委員)(健康づくり支援部会：松崎委員)

●事務局：大谷高齢者福祉課長、小山高齢者福祉課長補佐、相馬高齢者福祉窓口担当補佐、安達介護保険課長、栗山介護保険課管理担当課長、中橋介護保険課長補佐、北見介護保険課管理係長、関口介護保険課認定給付係長、神田健康推進課長、五十嵐健康推進課係長

●議事録

○事務局

ただいまから、帯広市健康生活支援審議会第3回高齢者支援部会と健康づくり支援部会との合同部会を開催させていただきます。

本日は、委員17名中14名の皆様のご出席をいただいております。

それでは、早速、会議に入らせていただきたいと思います。坂井部会長よろしくお願いたします。

○部会長

皆さん、お晩でございます。

早速会議を行います。

議題の1番目 「第四期計画(検討骨子案)」について 事務局から説明をお願いします。

< 事務局より説明 >

○部会長

ただいま、事務局より「第四期計画（検討骨子案）」について説明がありましたが、何かご意見・ご質問等があればお受けいたします。

○委員

市の総合計画との関係は。

○事務局

基本的には総合計画を柱としている。新しい総合計画の準備をしている。可能な事項は総合計画とおおよそ合わせていく考え。

○部会長

他になければ、次に議題の2番目、「その他について」であります。事務局から何かありますか。

○事務局

次回日程について（今年末か来年始めを予定）

○部会長

他に、委員の皆様から何かありましたら、お願いします。

○委員

施設が増設されるそうだが、人材確保が急務な状況。人材がいなければいいサービスに繋がらない。改善するために、介護保険の基金の剰余金で奨励金等を考えてくれたらと思う。

○事務局

人材確保は大きな問題と言われている。今後の人材確保のために介護保険料を3%引き上げるといのが国の説明。

基金は、市民の65歳以上の被保険者から集めた保険料が積み上がっている。保険料以外は決算直後に精算を行う仕組み。集まった保険料自体が精算できる形になっておらず、いったん準備基金に入れ、活用方法を考えることとしている。

基本的に保険料の部分に取り崩して使う選択を取らざるを得ない。それ以外に使うのは難しい。

人材育成、今後の高齢化社会への対応は国の施策を求めなければならないし、地方負担にならないように手立てをしてほしいと要望している。

今、国に向けて要望しているところ。その中に人材確保、負担増加にならない仕組みづくりを求めている状況。

直接的にお金を使って保険料として集めたものを使う保険者が、組み立てにくいと感じている。可能な部分で、職員の研修、有益な情報は知り得た段階で速やかに発信し、従事者の資質向上を図っていただき、基金の活用は利用者に対しての還元につながるように取り組んでいかなければならない。

○委員

帯広市で学生のための援助も考えていただきたい。

○部会長

これで十分だとは思っていないが、たくさん声を上げながら我々の声が反映されるような活動ができればと思う。

それでは、以上をもちまして本日の議題は全て終了いたしましたので、これで閉会といたします。長時間にわたり、大変お疲れさまでした。